

8 事前講習会

譲渡前に、事前講習会に出席してもらいましょう。猫の適切な飼育管理の方法と周囲へのマナー、健康管理と病気の知識、知っておくべき法律、そして避妊去勢手術の徹底などを伝えます。ほとんどの自治体が事前講習会に参加することを譲渡の条件としています。

譲渡前に行いましょう

実際に譲渡する子猫を見せる前に、講習を聞いてもらうようにしましょう。最初に子猫に会ってしまうと夢中になってしまい、講習の内容が頭に入らない方も多いためです。定期的に（月に一回など）事前講習会を行い、別の日に譲渡会に来てもらう場合や、譲渡会の開催に合わせて、事前講習会を同じ日に行っている場合など、自治体によって開催のタイミングは様々です。



わかりやすく伝えましょう

スライドや、実物（トイレ容器やおもちゃなど）を見せながら、わかりやすく伝える工夫をしましょう。東京都では17分程度のビデオを製作し実際の室内飼育の様子を見てもらっています。



Column

室内飼育のすすめ

子猫の講習会で特に伝えるべき、大切な情報のひとつは「室内飼育のすすめ」です。「猫を室内のみで飼うのはかわいそう」と考えている人も多いため、まずは、外で自由に飼育した場合のリスクから話をしていくといいでしょう。

外飼いのリスクとは、交通事故、感染症（猫エイズなど）、迷子、ケンカによる怪我等があります。こうしたリスクの結果後悔するよりも、室内飼育でかわいいペットを守ろう、というアプローチであれば、猫好きな希望者に伝わりやすいようです。もちろん、外飼いによる近所からの苦情やトラブル（排泄・爪とぎ・器物損壊・屋内侵入など）についても話をしましょう。そのうえで、室内飼育に必要な情報を伝えます。

以下は、室内飼育でも、猫が豊かで質の高い生活を送るためのポイントです。

- ・ 快適な環境（トイレ・ゆっくり眠れる場所・陽だまりなど）
- ・ 習性にあった環境（上下運動のできるキャットタワー・爪とぎなど）
- ・ 十分に遊んであげることの必要性などについての、飼い主へのアドバイス

もう一つの大事な情報「不妊去勢手術の徹底」をどのように伝えると有効かは、不妊去勢手術のページ（P22.23.24.25）を参考にしてください。

